

株式会社スパイア

SP!RE

メールセキュリティの向上とサービスの信頼性向上を実現するためSAVVY/MailRetrieverを導入

Profile

名称：株式会社スパイア

設立：1997年10月6日

本社：東京都港区

代表取締役社長 CEO：早川与規

資本金：13億862万円

業務内容：

モバイル広告事業

メディア事業

スマートフォンアプリ/

ソーシャルアプリ運営・開発

URL <http://www.spireinc.jp/>
 株式会社スパイア
 取締役CIO
 情報管理本部長
 岡本 重信 氏

 株式会社スパイア
 情報管理本部
 副本部長
 張 勝富 氏

スパイアグループは、

1. モバイル広告事業（メディアレップ、広告代理）
2. メディア事業（メール、モバイル、リサーチ）
3. スマートフォンアプリ/ソーシャルアプリ運営・開発

の3領域で事業を展開しています。「広告主・広告代理店」「モバイルメディア・ソリューション提供会社」「PC/モバイルのインターネットユーザー」、それぞれとの関係や取引を強化拡大しながら事業を拡張しています。

電子メールは、スパイアグループのビジネスの根幹であるモバイル事業、メディア事業を継続する上で欠かすことのできないツールであるとともに、電子メールの厳格な保存が求められます。同社では、ジップインフォブリッジ社の電子メールアーカイブシステム「SAVVY/MailRetriever」の導入により、メールセキュリティの向上とサービスの信頼性向上を実現しています。

■ 導入の背景

日本版 SOX 法の施行による会計監査の厳格化に対応するため内部統制を強化

スパイアでは、日本版SOX法の施行による会計監査の厳格化に対応するため内部統制強化を検討していましたが、社内から対策を望む声が高く上がった課題の一つに、電子メールの保全がありました。（情報管理本部 副本部長 張氏）

電子メールは、スパイアの広告ビジネスの根幹である一方、社内での連絡や、社外からの連絡の他、受発注の際のやり取りにメールを活用しており、電子メールを起因とする万が一の事件・事故への対応や、商談の経緯を把握する上でも電子メール保全の必要性は感じていました。既にウィルス対策やスパム対策を実施していましたが、企業としての信頼性をさらに向上させるためメールアーカイブシステム導入の検討を開始しました。（取締役CIO 情報管理本部長 岡本氏）

■ 選定のポイント

既存環境へ容易に適用できることと、膨大に蓄積されたメールに対する高い検索能力がポイントに

メールアーカイブシステム選定に際して、下記の点をポイントに挙げました。

- ① 既存メール環境に対する影響・負荷が最小限なこと
- ② 短期間で導入可能なこと
- ③ アーカイブしたメールから確実かつ高速に探しだせること
- ④ 導入コストや運用コストが低く、高い費用対効果が期待できること
- ⑤ システムに制約されることなく運用・管理が容易であること
- ⑥ 運用に際し特別なスキルが不要であること
- ⑦ アーカイブも検索もひとつのシステムで運用でき、管理工数が削減できること

システム選定に際して、普段、保存しているメールを見ることはほとんどないが、万が一の事件・事故の際に関連するメールを探し出す手立てが必要と考え、日々大量に蓄積される電子メールからの確に、かつ高速に目的のメールが探し出せる高い検索機能と、既存のメール環境を変更することなく容易に導入できることを重点ポイントとして検討し、その結果、ジップインフォブリッジ社の「SAVVY/MailRetriever」を導入することに決定しました。（取締役CIO 情報管理本部長 岡本氏）

社員数は多くないが、メーリングリストなどアカウントが多い当社にとっては、アカウントによる従量制のシステムだとライセンス数が高価になってしまうが、「SAVVY/MailRetriever」の場合、検索対象件数がライセンスポリシーとなっているため運用形態にマッチしたライセンスを適用できることも決め手の一つとなりました。(情報管理本部 副本部長 張氏)

導入に先立ち、既存メール環境に適用し評価を実施したが、「同時に導入検討していたメールフィルタリングシステム※との相性も良く、簡単な設定だけで導入が完了し、特にトラブルに見舞われることもなく評価を実施できたことで、高品質かつ高性能な製品であることを実感しました。」(情報管理本部 副本部長 張氏)

※クリアスウィフト社「SECURE Email Gateway」

■ 導入の効果

電子メール監査環境の構築による内部統制強化を実現

SAVVY/MailRetrieverの導入により、以下のような導入効果を実感しています。

- ①問題発生時の監査要求への迅速な対応が可能となった
- ②使い勝手が良く、ヘッダや本文だけでなく添付ファイルの内容まで検索できるため、柔軟な監査業務が実施できる
- ③大量の保存メールの中からでも的確に素早く検索することができる
- ④既存メールシステムへの負荷増大もなく、非常に安定した運用ができています
- ⑤導入コストや運用コストが低く、高い費用対効果を実現できた

『導入したことによる運用負荷増大もなく、導入前と変わらず利用できていることがもっとも大きな効果と言えます。』(取締役CIO 情報管理本部長 岡本氏、副本部長 張氏)

■ 今後の展開

現在は社外に対する送受信メールの保存のみを実施していますが、今後は社内で交わされているメールの保存も検討しています。また、アーカイブされたメールは各社員のバックアップや、離職時の業務引き継ぎとしての活用も期待できるため、今後パーソナルユースオプション※の導入も前向きに検討したいと考えています。

(情報管理本部 副本部長 張氏)

※SAVVY/MailRetrieverで蓄積したメールを、一般ユーザのバックアップデータとして利用する為のWebクライアント

エピソード

メールアーカイブシステム導入を検討し始めたきっかけの一つは、当時大きな社会問題となった某IT企業による粉飾決算に端を発する証券取引法違反事件でした。そのIT企業とは業態は違うものの、世間一般では同じ業態として見られることも多く、信頼性を担保するための対策が急務でした。

その反面、スパイアのビジネスにおいて社員個人の繋がりがビジネスに発展するケースが多く、電子メール利用を厳しく制限できないという側面もあります。そういう意味でも、電子メールを起因とする万一の事故にも迅速に監査できる環境が整ったことは事業を継続する上で大きな安心となっています。



JB ジップ°インフォブリッジ株式会社
JIP InfoBridge Co., Ltd.

http://www.info-brdg.co.jp/savvy/ E-mail:wasavvy@info-brdg.co.jp

システム営業部：〒135-0016	東京都江東区東陽2-4-24	TEL:03-5690-7733
名古屋：〒464-0854	愛知県名古屋市中千種区大久手町7-26-1	TEL:052-735-6305
大阪：〒532-0011	大阪府大阪市淀川区西中島2-12-11	TEL:06-6307-3382

※「SAVVY」は、ジップインフォブリッジ株式会社の登録商標です。その他の社名及び製品名は、各社の登録商標です。

CopyRight 2011 JIP Infobridge Co., Ltd. All rights reserved.